

長野県社協

災害ボランティア・福祉支援情報

2024年度

No.5

令和6年11月11日

長野県社協災害ボランティア・福祉支援本部

電話 026-226-1882

fax026-227-0137

ホームページ <https://www.nsyakyo.or.jp/>

メール vccenter@nsyakyo.or.jp

〔令和6年奥能登豪雨災害〕

元旦の地震に加えて、9月の豪雨により大きな被害を受けた輪島市、珠洲市、能登町の奥能登地域へ、災害ボランティアセンターの運営支援及び市町村社協が窓口になった「ボランティア・バン」（ボラバン）によるボランティアの支援が展開されています。

■災害ボランティアセンター（VC）運営支援

○関ブロ珠洲市派遣第7クール 10/26～31日（県社協：石澤、駒ヶ根市社協：丸山氏）

被災者からのニーズは地震7割、水害3割ぐらいの割合。道はやっと片側通行ができるようになったくらいで、家を直そうにも業者がいつ入るのか…という状況でまだまだ復興は難しい様子。

地元社協職員は、自身も被災されている中でVCを運営している。「自分の弱音は言いにくい」中で、他地域から来たブロック派遣職員になら話せるとのこと。住民の方でも「こんなに話を聞いてくれると思わなかった」と窓口で泣いてしまう方もおられたので、ただ話を聞くだけでも少し力になれたと感じた。

○支援P（中央共同募金会事務局）派遣 珠洲市 10/24～29日（岡谷市社協：伊藤氏）

主に団体で活動に来てくれた岐阜県社協、愛媛県社協、チーム福井のボラバスにより地区の側溝キャンペーンを実施。近隣の住民も気にかけて出てきてくれたり、一緒にお手伝いをしてもらったり、新しいニーズが出てきたりと、災害VCの活動の広報・周知にもなり、エリアマッチングに近いものが試せたのではないかと感じた。



珠洲市上戸地区 10/27

○今後の予定

<珠洲市>（関ブロ派遣）11/16～22日 県社協：小林、茅野市社協：鈴木氏

（支援P派遣）11/14～19日 岡谷市社協：伊藤氏

<能登町>（DSAT派遣）11/14～17日 茅野市社協：小林氏、千曲市社協：坂田氏

■ボランティア・バン活動報告

○茅野市社協 竹内事務局長

被害が甚大であることに加えて、山間地を結ぶ道路が各地で寸断されており、インフラや住居の再建には時間を要するため、震災前の生活に戻るにはまだまだ時間がかかる状況。被災地では、復興に向けた支援活動が行われているが、時間が経つにつれ、支援ニーズは変化していくので、そのとき一番必要とされている支援を、今後も継続的に行っていききたい。



輪島市町野地区 11/1

○8月以降のボラバン

<上田市>8/10：能登町：8名、9/7：輪島市町野：6名、9/21：七尾市：22名※高校生18名、10/5：輪島市町野：9名、10/26：輪島市南志見：9名、11/9：輪島市南志見：7名、<駒ヶ根市>10/12～13：七尾市、輪島市町野：5名、<茅野市>11/1：輪島市町野：6名、<長野市>11/1：能登町：4名、11/2～3：輪島市南志見：10名※大学生8名、<岡谷市>11/3～4：珠洲市：10名、<中野市>11/8：輪島市南志見：5名、<千曲市>11/10：輪島市南志見：8名

○今後の予定

<下諏訪町>11/15、<豊丘村>11/15、<上田市>11/16、<池田町>11/18～19、

<長野市>11/21～22、26～27、<須坂市>11/23～24